

2023 (第75回卒業生) 入試結果

Table showing admission results for 2023 (75th graduation year) across various university categories: 国立大学, 公立大学, 私立大学, 短期大学, 専門学校, 就職, 公務員, 準大学.

部活動

1. 部活動の入部状況 (複数在籍含む)

Table showing enrollment status for club activities by year (1st, 2nd, 3rd year) and total enrollment, including a percentage of enrollment for those registered in multiple clubs.

2. 部員数及び活動状況 (令和5年度)

Table detailing the number of members and activity status for various sports and cultural clubs (e.g., 陸上男子, 陸上女子, 野球, ソフトテニス, テニス, バレーボール, バスケットボール, 卓球, 剣道, 弓道, バドミントン, フェンシング, サッカー, ソフトボール, 水泳同好会, レスリング, 応援) for the 2023-2024 fiscal year.

Table detailing the number of members and activity status for various cultural clubs (e.g., 写真, 茶道, 美術, 吹奏楽, 科学, パソコン, 新聞, 英会話, ギター・マンドリン, 文学, 放送, コーラス, 図書, 書道) for the 2023-2024 fiscal year.



成人同窓会活動報告

令和六年一月五日、ホテルフラッグスにて七十四回生の同窓会を開催しました。先生方を含め百九十六名の皆さんに参加していただきました。参加してくださった皆様へこの場をお借りして御礼申し上げます。私たちが高校生活はコロナ禍真只中で、修学旅行や高校総体の中止、体育大会・クラスマッチの縮小開催などの様々な困難や、これらによって生まれた新たな楽しさもありました。そのような当時の思い出に花を咲かせるとともに、約二年前に会った友人や先生方との近況報告で盛り上がるなどマスク無しでの同窓会は非常に楽しいひとときとなりました。次回の同窓会で皆とどのような話が出来るか楽しみです。

七十四回生幹事 造酒 明音

お礼—令和五年度全国高等学校 駅伝競走大会出場に際して

三年生のために

陸上部顧問・女子駅伝監督

羽山篤史

(五十一回生)

同窓会の皆様には、日頃より多大なるご支援とご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年の都大路で入賞を逃してから、もう一度「八位入賞」の目標を掲げて練習に励んでまいりました。今年の三年生二人は、それぞれ一年次、二年次と都大路を走ってきましたが、思うような走りができずに悔しい想いをしてきました。最終学年となった今年にける想いが強く、それぞれがエース区間の一区を走りチームを入賞に導きたいとこの一年間努力を重ねてき



ました。しかしながら、陸上の神様はなかなか二人に微笑んでくれず、度重なる怪我と病気に伴い、二人が万全な形で練習をすることができませんでした。それでも、二人は決して諦めることなく努力を続けてきました。その結果、十一月の県予選大会では、主将が一区で流れを作り、二位に五分以上の差をつける優勝で都大路の切符を獲得しました。

しかし、都大路の出場権を獲得した翌週、足が悲鳴をあげたのです。都大路前に主将の離脱、なかなか状態が上がらないもう一人の三年生。刻々と迫る期日に、不安と焦りが二人に重くのしかかりました。それでも、都大路出走を諦めず走り続けました。指導者としては早く止めさせるべき

状態でしたが、彼女たちの想いが強く、止めさせることができず、最後まで走り続けた。最後まで走り続けた彼女たちの姿に、下級生が奮起しました。出発前の練習で、出走した五人中四人が自己記録を更新する走りを見せてくれました。その勢いそのまま京都に乗り込みました。二人はサポートメンバーに回りチームを引っ張ってくれました。長距離女子部員十四名全員で、師走の京都を駆け抜けました。途切れることのない声援により、今の力を出し切ることができました。目標には届きませんでした。目標には届きませんでした。最後まで素晴らしいチームワークを発揮してくれました。さらに飛躍できるように精進してまいります。今後とも変わらぬ応援をよろしくお願いいたします。



定時制の現在

定時制

教頭 山本康雄

(三十四回生)

令和五年度の一年間を振り返ってみると、主な行事は次のとおりです。四月十日、第七十五回入学式において十六名の新生を迎え、全生徒三十九名でスタートしました。昨年度から二桁の生徒が入学して、少しずつ生徒が増え、活気が出てきました。生徒は夕方からの四コマの授業を受けています。そのうち、約六割の生徒が昼間に働きながら通学し、仕事と学習の両立を頑張っています。五月二十六日、四年ぶりにPTA総会が開かれ保護者との懇談会も有意義でした。六月十一日、県定時制通信制体育大会が長崎工業高校他で行われ、本校からバドミントン競技と卓球競技に出場しました。入賞することはできず、気持ち新たに来年度の活躍を期待したいと思います。六月三十日、ETA総会を実施しました。勤労生徒の支援について活発な意見交換が行われました。十月一日、県定時制通信制生徒生活体験発表大会が佐世保市相浦町コミュニティセンターで行われ、三年島山智貴君がこれまでの人生を振り返って「高校生という選択」

シリーズ「おしどりの池」②

母校への赴任にあたって

前田 幸一 (三十七回生)

前任校で異動の内示を受ける際、赴任先が諫早高校と聞いて驚きとともに身の引き締まる思いがしたのを覚えています。思えば約四十年前に卒業し、再びここに帰ってくることに感じています。ところで今年度は三十七回生にとって、待ちに待ったというべきビッグニュースが飛び込んでき



というテーマで堂々と発表し聴衆を魅了しました。今年度は生徒職員全員が会場に応援しました。十月二十七日、第十四回文化祭を開催しました。生徒会のオープニングビデオ、職員の飛び入り弾き語り、家庭科、国語科、書道の作品展示、三年によるハンバリー、PTAと職員によるうどんコーナーなどに生徒の家族ら約六十名が参観し、大盛況に終わることができました。十一月十八日、諫早・大村・島原の定時制三校による中地区定時制体育大会が本校体育館で行われました。生徒数減に伴い、今年度はバドミントン競技に絞って個人戦が行われ、四年の井水吏心君が三位に入賞しました。三校の生徒の親睦を深める

編集後記

令和五年度は、コロナ前の日常に戻りつつある一年となりました。本校の同窓会総会・懇親会も四年ぶりに二百名を超える会員の方々に参加をしていただき、無事に開催することができました。懇親会では大変な盛り上がりを見せ、久しぶりに親睦を深めることができました。また、各支部の総会・懇親会も開催され久しぶりの再会に話も盛り上がり、声高らかに校歌を斉唱される姿を見ることができました。同窓会の活動もコロナ前に戻ることができて、大変うれしく思っております。

今回の会報におきまして、原稿執筆や情報提供をいただきました皆様方、本当にありがとうございました。おかげさまで今年度も同窓会々報を発行することができました。また、本年度も様々な学校行事の開催にあたり、同窓会生の方々をはじめ、地域の方々など非常に多くの方にお力添えをいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

「文武両道」の校是のもと、来年度も母校のさらなる躍進のため今後も教職員一同、一枚岩となって努めて参ります。最後になりますが、同窓会々報をご一読いただき、母校に思いを寄せていただければ幸いです。